

2020年3月27日

## 原料費調整制度に基づく2020年5月検針分のガス料金について

(群馬南地区)

東京ガス株式会社  
広 報 部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2020年5月検針分の単位料金を、2020年4月検針分と同額といたします。

今回の調整は、2019年12月～2020年2月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1か月に34m<sup>3</sup>のガスをお使いになる標準家庭においても、2020年4月検針分と同額となります。

2020年5月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1か月の ご使用量	料金表A 0～22m <sup>3</sup>	料金表B 23～223m <sup>3</sup>	料金表C 224m <sup>3</sup> ～
基本料金 (円/月)	759.00	924.00	2,574.00
調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> )	120.65	113.28	105.91
(参考) 4月 調整単位料金	120.65	113.28	105.91

### 2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1か月のご使用量 34m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	2020年 4月	2020年 5月	増減
適用料金(円/月)	4,775	4,775	0

- ・標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1か月あたりの平均使用量（2012年度～2016年度の5カ年平均）に基づき算定しています。
- ・口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円（消費税込）を抜いた金額となります。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)

	2019年11月～2020年1月の平均 (4月検針分)	2019年12月～2020年2月の平均 (5月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	25,320	25,350	30
LNG	52,990	52,910	▲ 80
LPG	52,030	53,740	1,710
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	▲ 2,000	▲ 2,000	0

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

#### <原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

##### ■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= 52,910 \times 0.4414 \\ + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= 53,740 \times 0.0371 \end{aligned}$$

$$= 25,348.22$$

↓(100円未満四捨五入)

$$25,350 \text{ 円/t}$$

##### ■ 原料価格変動額の算定

$$25,350 \text{ 円/t} - 27,350 \text{ 円/t} = \begin{matrix} \text{▲ 2,000} \\ \text{円/t} \\ \text{↓(100円未満切捨て)} \\ \text{▲ 2,000} \\ \text{円/t} \end{matrix}$$

##### ■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= \begin{matrix} \text{▲ 2,000} \\ \text{円} \end{matrix} / 100 \text{円} \times 0.0858^{*1} \\ &= \begin{matrix} \text{▲ 1.72} \\ \text{円}^{*2} \end{matrix} \end{aligned}$$

\*1 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

\*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

#### <標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 34m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	2020年 4月	2020年 5月	増減
適用料金(円/月)	4,775	4,775	0

#### ・ 標準家庭料金の計算方法

群馬南地区

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(924.00円)} \\ &+ \text{調整単位料金(115.00円)} + \begin{matrix} \text{▲ 1.72} \\ \text{円} \end{matrix} \times 34\text{m}^3 \\ &\text{料金改定時の基準単位料金(税込) ↑} \quad \text{↑単位料金調整額(税込)} \end{aligned}$$

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m<sup>3</sup>あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（27,350円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が43,760円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は43,760円としてガス料金の調整を行います。